

リーダー - 神の国を待ちなさい (使徒 1 : 3)

序論

▶とりあえず作詞するということはとても難しいことだと思います。なぜなら恵みを受けた通りに書けば簡単なのですが、主題があるのでその通りに書くから難しいです。契約として残さなければならないので、一年ごとにその年のメッセージを残していくという思いがあるからです。作詞もこんなに難しいので作曲する人も難しいと思います。私が作詞をすると、多くの方々によって数十曲をあげてくれます。曲があがってきたら、数日祈りながら車の中で聞きます。あげてくださった何十人かの中で一人を決定しなければならないからです。その曲を聞くときには、これは誰々が作ったという名前は一切見ません。番号だけを持って聞きます。聞くうちにすばらしい曲がたくさんあります。すべての曲はそれぞれの良さがあってすばらしいです。1曲を選ぶということは他の曲を落とすという気になるので、本当に申し訳ないです。ある時は、丸一日聞きながら、すべての曲を使いましょうと提示したこともありましたが、そんな中で4つの曲だけを選定したことになります。もちろん選ぶときには多少の基準があります。先ほどのミニコンサートで、最初の3曲までは専門家が聞いてもすばらしいというほどのものです。ところで、4番目の曲を私が選んだ理由は、専門家でない人が聞いてもいいなと思う曲だったので選んだのです。また、もう一つの基準があります。曲がまるで歌詞と合わない、歌詞となじめないならばいけません。つまり、歌詞がメロディによって皆によく入っていく、そのような曲を選びます。私が選択しましたが、そんなに悪い選択ではなかったと思います。本当にすばらしい賛美だなどつくづく思います。

▶ある賢いレムナントが私に質問をしました。今回の賛美を聞いて、私は今後の自分の方向性を決めましたと。ところで、他の人にも質問されました。他の国はただ行けるのに、どうしてエジプトはナイル川にも行くし、エジプトの方の川にも行くのですかと。特別な理由はありませんが、ナイル川は、エジプトだけとつながっている川ではありません。中央アフリカからスタートしてエジプトを通過するので、地中海の方までその川は流れてきます。約5600キロです。そのナイル川の流れに沿ってものすごい文化が発明されていきました。そして、たくさんの偶像文化も生まれてきたのです。それでその偶像文化を生かしてエジプトに入っていくということです。モーセもナイル川に沿ってエジプトに入りました。だから、他の意味はなく、契約を継続的に持っていくという理由があります。

▶私たちの記憶に残るものもあると思うのですが、その中で良いものがあります。私が元気になるとか力になったという記憶は残ります。または、すごく失望してしまいそうな記憶もあつたりします。私ももちろん自分の記憶に残るようなことがあります。教会がどうで、誰がどうで、タラップンがどうのこのとか、柳先生がどうしたとか、牧師先生のいろいろな話を聞くと気分があまりよくはありません。だから、そういう事柄に対しては、ぱっとすぐに答えはできません。そのような話に対しては、内心で答えます。もしあなたが言っているそのことが教会であるならば、それは教会ではなく地獄だ。そのように心で答えます。教会はこんな人も必要で、教会はあんな人も必要です。神様の民であるならば、教会の中には欠けている人もいます。教会の中には病んでいる人も少しおかしい人もいます。また、教会には自由がなければなりません。教会は真理の中で自由でなければなりません。教会は慰めも必要です。しかし、間違っている人を許すことも必要です。そのようにいろいろな人たちの話を聞くと心に残るので祈るようになります。祈るようになると相手に対して関心も生まれます。その人に対していろいろとじっくり見ていきます。時間が過ぎた後、そういう発言をした人たちを見ると、ほとんど教会からはいなくなっていました。しかし、誰かに指摘されいろいろと悪く言われ、欠けていると非難されていた皆さんは、いまでもここに残って伝道運動をしています。

▶なぜ私がこのような話をするのか。

皆さんは、実は何事も心配する必要もなければ、判断する必要もありません。もしもなにかを判断しているのならば、皆さんは未信者と同じです。神様の子どもは、神様の契約の中にいます。その中で危機に遭うたびに、誰も助けてくれないときに起きたことがあります。特にレムナントに起こったことです。イエス様が直接話されました。皆さんは、本当のリーダーであるために、イエス様のみことばを聞かなければなりません。イエス様は言われました。待ちなさいと言われました。ものすごい答えである神の国について語られました。伝道者が行く道には、神の国が必ず臨まれます。私たちの国ではなく、神の国が臨まれます。リーダーの皆さんは、必ず記憶していただきたいと思います。皆さんが神様のものであるならば、必ず記憶しなければなりません。これから答えを受ける人であるならば、忘れてはなりません。皆さんはリーダーになる方々であるために覚えていてください。神様は、危機のたびにこの

ように神の国を来たらされました。

▶序論 - では、神の国とはいったい何でしょうか。

1) みことば/3つののろい、解決/聖霊、背景 - 天国、御使い、権威 - 暗やみ

(1) みことば (神様)、3つののろい 解決 (キリスト)、聖霊

①神様(みことば) - 神様は私たちのいのちの主管者です。それでいて、みことばを持って働かれます。皆さんの能力とは関係なく働かれます。必ず記憶しなければなりません。

▶皆さんの力では、実際的に、世界を生かすことはできません。ある意味、必要はないと見なければいけません。多くの方々は、牧師の能力の話をするのですが、牧師の力で教会を生かすことはできません。

②キリスト (3つののろい、解決) - だから、キリストが遣わされ、3つののろいを打ち壊しました。

③聖霊 (力) - そして、聖霊の御霊が働き、私たちに力を与えてくださいます。

▶これらを指して、三位一体の神と言います。

(2) 背景 - 天国、御使い

▶私たちにものすごい背景が与えられました。このような背景が、完全な神の国のところに行くまで、この地上にあって成し遂げられることを望んでおられます。

▶この背景とは、つまり、天国であるのですが、私たちが生きるところで、私たちが行く所々で本当に大きな背景となるのです。皆さんが危機のたびに、契約を握るたびに、また、難しいことがあるたびに、神様は御使いを送って、皆さんを保護し、皆さんを守られます。

(3) 権威 - 暗やみ

▶そして、私たちに大きな権威も与えられました。すべての暗やみの勢力、特にサタンの権威を縛って打ち壊すことができる権威が私たちに与えられたのです。これを指して、神の国と言います。

2) 理由

▶これらが与えられた理由があります。皆さんはリーダーであるために、その理由について記憶しなければなりません。

(1) 隠されたサタンの国 (創世記 3 章、6 章、11 章)

▶この理由とは、隠されたサタンの国があるからです。とても大きいです。しかし、一気に壊すことができるのは神の背景です。隠されたサタンの国というのは、創世記 3 章、6 章、11 章です。

(2) 隠されたサタンの文化 (使徒 13 章、16 章、19 章)

▶そして、隠されたサタンの文化があります。使徒 13 章、16 章、19 章です。

(3) 隠されたサタンの災い

▶人々が全く見つけることのできない隠された災いがあります。皆この中で滅びていくのです。

3) レムナント - 神の国

▶それで、レムナントが行く道なりに神の国が臨まれるということです。この約束を握らなければなりません。皆さんが元気を失ったり、勉強ができないとしても神の契約を握っていかなければなりません。勉強ができる子も神の契約を握るべきです。なぜなら、必ず皆さんには、神様の重要な計画が残っているからです。その計画は、後に話しましょう。

(1) 創世記 41:38

▶今から皆さんに臨まれる神の国の奥義は、創世記 41:38、ヨセフに臨まれました。実際、ヨセフは最初からこれを味わっていました。神の国を。主がヨセフとともにおられたということです。主がこの王に夢を与えてくれたということです。主が私を人を救うために、先に遣わされた。未信者のパロは言いました。神の霊が宿っているこのような人を他に見つけることができようかと。神の国です。必ず信じてください。

▶これを信じることができなければ、未信者と一緒です。人には 2 種類の人があります。神を信じる人と信じない人がいます。神を信じていない人はどうなりましたか。代表的な例が共産主義の人です。崩れました。神を信じる人の中にも福音をよく知っている人と、よく知らない人がいます。神様を信じているとは言っているものの、本当の福音を知る人は 10%にも満たないと思います。

▶福音を知っている人の中にも 2 種類があります。神様の本当の答えが何であるかが分かる人。この人はまだ 1%にも満たないと思います。神様は、危機の時代が起きるたびにレムナントを召され、神のことを成し遂げられました。いまでもこの三位一体の神と主の背景は動いています。まったく心配する必要はありません。

▶信徒たちが心配している事柄は、神がいないと前提した時の心配事です。私たちが主張して教会で紛争していることは、神様が私とともにおられないことを前提にしてすることと同じです。私は全世界の

レムナントにこう言いたいのです。勉強の心配もせずに、将来の心配もすることなく、神の国が臨まれる主役になりなさい。ある人が、そういう話をすると、学生がまったく勉強しなくなるのではないですかと言いましたが、そんなはずはありません。

#### (2) 出エジプト 3:18-20

▶よくご覧ください。出エジプト 3:18-20、わたしは力の御手をもって、あなたとともにいると言われました。あなたは行って血のいけにえをささげにいくと言いなさいと。この時から人の手では到底止めることのできない神の働きが起きたのです。神の国が臨んだということです。モーセが、ヘスペリオンの帝国大学を出た時にも、このような働きが起きることはありませんでした。ミデヤンで 40 年の間、祈ったときにもこの働きは起きませんでした。神の契約を握った時に起きたのです。

▶聖書をよくご覧になり、契約を握ってリーダーになってください。皆さんは、家を生かし、教会を生かし、世界を生かすリーダーです。大変申し訳ないですが、いまの大人たちが持っているその信仰状態ではこの世の中を生かすことは難しいです。いま私は大人を侮辱しているのではなく、その刻印、根では教会を生かすことは難しいということです。それで、神様は時代ごとにいつも若いレムナントを召されました。

#### (3) I サムエル 3:19

▶サムエルの言葉はひとつも地に落とされませんでした。

#### (4) I サムエル 16:13

▶I サムエル 16:13 に、この日以降、主の霊が大きくダビデの上に乗った。

#### (5) II 列 2:9-11、II 列 6:8-24

▶私に霊の二つの分け前を与えてください。その後、ドタンの町運動が起きました。

#### (6) イザヤ 60:20-22

▶イザヤ 60:20-22 は何ですか。小さい者も氏族となり、そして、弱い者も強国となると言われています。

#### (7) 使徒 1:3

▶イエス様が冗談で言ったものではありません。最後のところで言われた言葉です。神の国のことについて 40 日間語られました。特にレムナントが三位一体の神の背景を知るとき、どのようなことが起きるのでしょうか。聖霊の満たしが与えられます。単なる答えではありません。天の御使いの軍勢が動員されるということです。この権威は、単純な権威ではありません。暗やみの勢力が完全にひざまづく働きが起きるといいます。なにをするときでしょうか。

▶神様が皆さんを召されたのには理由があります。どのように召されたのかを見てみてください。

### ▶本論 - 神様の重要な計画

1. 最高の現場 - 最高の現場に召し、神の国が臨まれるようにさせました。

2. 最高の文化現場 - 2 番目は、最高の文化の現場に神の国が臨まれるようにしました。

3. 最高の答え - 3 番目は、最高の答えを与えることのできる神の国をもたらし、その現場に皆さんを召されたのです。

### 1. 最高の現場 (王)

▶よく見てください。最高の現場、レムナント 7 人は、皆王の前に立っていました。目標にしたのではありません。神様がそのようにさせました。すべてのレムナントを王の前に立たせた特徴は何でしょうか。

#### 1) 始まり - 弱い

▶彼らの始まりは皆似ています。どのように似ているのでしょうか。始まりがほとんど弱い中で始まりました。ヨセフで話をしますと、奴隷から始まりました。だから、なにも心配する必要がありません。ダニエルが王の前に立ったときには、捕虜の状態でした。必ず記憶しなければなりません。皆さんに難しいこと、困難なことが起きたら、答えを見つけてください。神の国です。なぜ兄たちがそうしたのでしょいか。早くヨセフはその家から出なければならなかったからです。なぜ奴隷として売られたのでしょうか。エジプトに行く道はその道しかなかったからです。そうですよね。ノービザ、ノーチケットです。どうしてポティファルの妻から濡れ衣を着せられたのでしょうか。それは早くポティファルの家から出て来なければならなかったからです。どうして刑務所の中に入れられたのでしょうか。王がヨセフを呼ぶ時刻表があるからです。

#### 2) 過程 - 事件

▶これらひとつひとつの過程をご覧ください。神様が、ある日、事件を起こします。皆さんのように事

件の前で揺れてしまいますと、いつも未信者のよう心配していますと、神の御働きを逃してしまいます。事件を通して神様は働かれていますのです。どんな御働きでしょうか。神の国です。神の国が臨まれること、これが答えです。

▶今日の1講義目は何ですか。浅い人は、リーダーにはなれないということです。福音の深いところに留まっていなければならないということでした。そのような人がリーダーになることができます。福音が浅い状態だと用いられることができません。福音が浅いのでキリストの中にすべてのものがあるということを知ることができません。分からなければ、キリストではない他のものを握らなければなりません。そうだと思いますか。これで満足できなければ、別のものをまた握らなければなりません。それが問題なのです。すると、皆さんの学業はキリスト・イエスにあって行われるべきなのですが、別のところでやるようになってしまいます。すると、本当に貴重な皆さんが、一生の間、神様に用いられるのではなく、サタンの子供になってしまいます。サタンの子供になるのであるならば、むしろ失敗したほうがいいです。勉強できないほうがいいです。

▶ですから、皆さん、いまから覚悟してください。皆さんは神の国を臨ませるリーダーです。成功したならば、皆さんは世に流れるのではなく、世の中のリーダーになってください。

### 3) 世界福音化

▶このように、すべての過程を主が導かれました。簡単に言えば世界福音化です。なぜなら、彼らは王の前に導かれました。

▶これが皆さんが受ける答えです。皆さんが作り出すことではありません。本人たちによってできたことは一つもありません。いままで皆さんが学んだ方法というのは、自分で作らなければならないという方法でした。

▶しかし、本当の答えは、神によってなされていくことです。パロの王の前に立ったときに、全世界が福音化されました。皆このレムナントたちは、王の前に立ったのです。モーセもそうでした。ダビデは、サウル王の前に立ちました。皆さんご存知のように、エリシャは、アラムの国の王の前に立ちました。ダニエルは3人の王の前に立ちました。それでパウロもローマも見なければならぬと言ったのです。もっと重要なのは、「恐れるな。パウロ。あなたはカイザルの前に立たなければならない」ということです。これは普通の言葉ではありません。

▶皆さん、神の国が最高のすべての答えです。これを知らない人は成功する必要もなければ、成功はいりません。また、成功してもいけません。ですから、神の国の反対後は地獄です。私たちは、二つのうちの一つです。サタンの国に献身するのか、神の国に献身するのか。

## 2.最高の文化現場（作品）

▶よくご覧ください。最高の文化へと導かれました。作品です。

### 1) モーセ五書

▶すべての国の偶像を一気に倒すことのできたモーセ五書です。

### 2) I、IIサムエル

▶ペリシテの国と周辺国家のすべての暗やみの勢力を完全に打ち壊すことのできたIサムエル、IIサムエル。

### 3) 詩篇 73 篇

▶すべての偶像文化を一気に黙らせてしまう詩篇 73 篇の内容を、ほとんどダビデによって記録されました。皆さんの学業に神の国が臨まれるはずで、確実です。ですから、契約を握ってください。

▶レムナントたちを見ますと、今回のレムナント大会でも出てくるとは思います。質問をしているレムナントには、二つの特徴があります。メッセージのときにすべて答えを渡したにもかかわらず、また質問するのは、昨年、質問したことをまた尋ねるレムナントがいます。今日も誰かが「24 時の祈りをどうすればいいのですか」と質問しました。その時私が悟ったのが、ああ、レムナントは一気に、一発ですぐに刻印させるのではなく、神様が一步、一步、ひとつひとつゆっくりと刻印されるのだなと思いました。

### 4) 対応

▶それで、このような作品が出てくるようにさせたのです。簡単に言えば、世界を変えさせた書簡書が出てきたということです。特に医者であるルカが書いた使徒の働きの内容は、いまも御働きが起きています。必ず記憶してください。

## 3.最高の答え（いやし）

▶これから皆さんが神の国を持って何を与えるのでしょうか。相手に答えを提示することです。それが  
いやしです。明日はサミットについてお話ししたいと思います、この答えがいやしです。

#### 1) レムナント7人

▶レムナント7人はなにを与えたのでしょうか。答えを与えたのです。言うことなしです。パロ王に対しても答えを与えました。モーセがパロの王とすべての民に対して答えを与えました。ミツパに集まって、サムエルは答えを与えました。ゴリアテを打ち倒して全世界に答えを与えました。これらが神の国です。答えを与えるしかありません。

▶本当です。これから皆さん、絶対にこれっぽっちも思い煩ってはいけません。思い煩う理由は、間違っていたことが皆さんに刻印されているからです。この答えがあるならば試みに遭う必要はありません。この答えがあるということは試みに遭う必要がないのですが、試みに遭うということはなにか間違っているものが入っているからです。親を恨む必要もありません。皆さんを産んで育ててくれただけでも感謝です。皆さんのご両親でなければ、ここに来ることもなかったでしょう。どれだけ感謝なことでしょう。私は大人を見て心に傷を受けたり落胆したりしませんでした。なぜなら、いままで教会がそのように教えてきたわけです。教会でいろいろともがいて暴れている人たちは、どれほど大変でしょうか。彼らこそが大変なのです。教会の中のそのような人たちは、皆さんのように子どものときにこういう答えがなかったわけです。答えのある皆さんは、どこに行っても恐れる必要はありません。誰もヨセフを助けてくれませんでした。しかし、ヨセフが行く所々では、神の国が臨まれたのです。それで十分です。

▶私は一時期、なにを感じたかと言いますと、例えば、私がこうやって歩いたとしたら、誰かが私を引っぱるような気がしました。伝道運動をしているのに、それを妨げるような感じで私の足も手も首も誰かが引っ張るような、そんな思いがあったのです。そのとき私は、キリストはすでに悟っていたので、その時悟った言葉が、神の国です。私たちレムナントが、この神の国の主役になれると思います。その理由は、そうなることが神の御心であるからです。

#### 2) バビロン

▶バビロンに答えを与えました。これは解放の始まりでした。どんなに強い者だとしても、その人たちの死の危機の前に、皆さんが答えを与えることができるならばそれで十分です。

#### 3) 初代教会

▶そして、初代教会が答えを与えました。パウロが答えを与えたのです。言うことはありません。

▶どのように成功すべきですか。それは一般の人々がする質問であって、皆さんは時代を生かすレムナントです。神様の子どもです。皆さんに問題や苦しみがあるならば、堂々と契約を握ってください。誰かによってつまづくようなことがあるならば笑ってください。笑うことです。難しいときに、難しいことが来たときに苦しむ者は三流人生です。困難に遭ったときに我慢する者は二流人生です。苦しいときこそ笑える人が一流の人生だと思います。そんな名言があります。苦しいときがあれば笑う。ダビデは苦しみを楽しんでいました。ユーモラスなこともしたのです。王がダビデを殺しに来ました。その時ダビデは、洞穴の中に隠れていました。サウル王がダビデを殺そうと歩き回っていて疲れてしまったので、洞窟の中に入って寝ていこうと思いました。中は真っ暗で何も見えないでしょう。そうしたら、面白いことに洞窟の中に先にダビデが入っていたのです。そして、寝ているサウル王の裾をナイフで切り落としました。そして、サウル王が目覚めた瞬間に、突然「父よ」と呼んだのです。サウル王はびっくりしました。突然、そんな真っ暗な洞窟の中でダビデの声が聞こえたからです。ダビデは切り落とした裾の切れ端を「これは何でしょうか」とサウル王に見せました。サウル王は、自分の洋服の裾だということに気づきました。愚かな者だとしてもそれは気づくでしょう。そのときにサウル王は感動を受けて、「あなたは、やはり私の息子だ。本当に申し訳ない」と泣いて感動しました。やはり、どこかおかしいわけです。そんなことを見て恐れてはいけません。そのような存在が世にあるとしても恐れてはいけません。つまり、悪霊にとりつかれている人がどんなことをしようと、皆さんがつまづく必要はありません。悪霊にとりつかれている人たちが発作を起こしているだけなのに、皆さんはどうしてその発作に驚き恐れるのかということです。

▶皆さんはリーダーにならなければなりません。本当のリーダーにならなければなりません。皆さんはすぐに大人になると思います。皆さんは、主のしもべの右腕、左腕、足になっていただきたいと思いません。

#### 結論 - 失敗→真の成功

▶結論です。どうして待ちなさいと言われたのでしょうか。待つということは、ただ黙っているというわけではありません。序論を体験しなさいということです。待つということは、時刻表を味わいなさい

ということです。待ちなさいということは、とても重要な意味があります。皆さんがまるで負けているかのように見えるかもしれませんが、また、失敗しているかのように見えるけれども、でも、本当の成功をするということです。待つということが分らなければ、本当にそれは愚かなことです。

1) 奴隷→世界福音化

▶奴隷として送り、世界福音化をしました。奴隷だけを見ると失敗したかのように見えるでしょう。

2) 捕虜→世界福音化

3) 属国→世界福音化

▶神様は捕虜にして行かせ世界福音化をして、属国にさせて世界福音化を成し遂げました。

▶理由は何でしょうか。この理由を、イエス様が説明しました。マタイ 13 章では、ある人には、その内容を分からせるためにたとえ話をします。また、ある人には、その事柄について絶対に分からせないためにあえてたとえ話をします。レムナントの皆さんは一気に成功していきますと、偽物がたくさん皆さんにくっつくかもしれません。レムナントの皆さんが苦難一つなくただ成功、成功と行ってしまいますと、商売人だけが皆さんにくっつくでしょう。奴隷や捕虜や属国状態だとしても、少なくとも神の導きを受ける者がこれを見た時に、少なくとも神の国がなにであるかを見ることができるとでなければなりません。よくどう祈りますかと尋ねます。皆さんが事件にあったとき、なにかのことに出会ったとき、なにかの話を聞いたとき、この神の国を考えることが祈りです。皆さんが、講壇のメッセージを握って、祈りの手帳のメッセージを握って、全体メッセージを握って、少しずつ黙想しながら祈ること、それが祈りです。それをずっと続けてやっていきますと、ある日、皆さんだけができることが見えてきます。

▶例えば、ある人が病気になってしまった。どうなりますか。病気にかかった人は病気のことは考えないと思います。だから、祈りの答えが来るようになると、その時から 24 時になるしかありません。そうすると、神の国が臨まれます。その神の国が臨まれることが 25 時です。そして、世の中の人々は自分の衣食住のためにやりますが、私たちは永遠なことを握っていきます。それが永遠な祝福になっていきます。決してこれらを逃してはいけません。

▶それでリーダーの皆さんは焦ってはいけません。待つことです。待つとはじっとしていることではありません。待つということは、それこそ言葉そのままなにかが来るのを分かっているから待ちなさいということです。お母さんを待つということは、お母さんが必ず来るから、それを信じているから待つのです。ただそういうことをなにも考えずに待っていることは、待っていることではありません。私たちは、神の国が臨まれることを待ちます。また、その過程を味わっていきます。それで十分です。

▶私はどんな迫害も恐れませんが、なぜなら、神の国とレムナントがいるからです。時代ごとに一度も欠かさず、福音のあるレムナントが用いられました。私はその働きに自分がこのように献身することができるということを本当に感謝しています。ですから、いまから味わってください。すると、残りの答えは主がなさいます。皆さんが、本当に神の国が臨まれる、神がともにおられることを見るようになるでしょう。今日、神様に栄光の拍手をささげましょう。

(祈り)

イエス・キリストの恵み、神様の大きな愛、聖霊の御交わりとが、神の国を臨ませるすべてのレムナントたちの上に、いまからとこしえまでいつもともにありますように。アーメン